

## 2022 年度事業計画 ~~（案）~~

### 1 事業実施の方針

(1) 2022 年度はコロナ感染の状況を踏まえつつ従来の事業を継続していく。

- ①40～45 区画の棚田オーナー確保（コロナ禍での影響を考慮）
- ②荒廃農地の活用（千榎棚田振興協議会との連携推進）
- ③オーナー、企業向けの体験プログラムの提供（オンラインプログラムを含む）
- ④HPでの情報提供と SNS、ラジオ、テレビによる広報活動を実践する。

### 2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係わる事業

事業名	事業内容	実施 予 定 月	実施予定 場 所	従事 予 定 人 数	受益対象 の範囲及 び予 定 人 数	備考
①棚田オーナー事業	棚田 40～45 区画でオーナー事業を実施	4 ～ 10 月	上倉沢地区	50 人	40～50 組 500 人	
②棚田復活事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 荒廃農地の解消として自走式草刈機の活用</li> <li>・ 茶草場体験の実施</li> <li>・ 解消地で菜の花栽培</li> <li>・ ビオトープの整備</li> </ul>	1 ～ 12 月	上倉沢地区	50 人	150 人	
③農業農村体験事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小、中学生、棚田オーナー対象に昔の農具を使った体験学習を実施</li> <li>・ お茶染め体験などお茶を活用した体験プログラムの実施</li> <li>・ 企業向け体験プログラムの提供、酒米作り（オンライン含む）</li> </ul>	1 ～ 12 月	上倉沢地区	5 人	400 人	
④棚田保全啓発事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ホームページ管理運営</li> <li>・ 棚田市場の実施</li> <li>・ 広報活動（SNS、テレビ、ラジオ、講演、イベント等で実施する）</li> </ul>	随時 随時 随時	役員宅 イベント時開催 随時	1 人 8 人 3 人	不特定多数 不特定多数 不特定多数	